

橋梁解体工法「オーバー・ザ・ブリッジ工法」

交差点の真上に位置する高速道路の撤去を空中で完結

調査・設計・計画

橋梁架設

材料

ICT施工

コンクリート施工

プレキャスト

高耐久化・床版更新

お客様のメリット

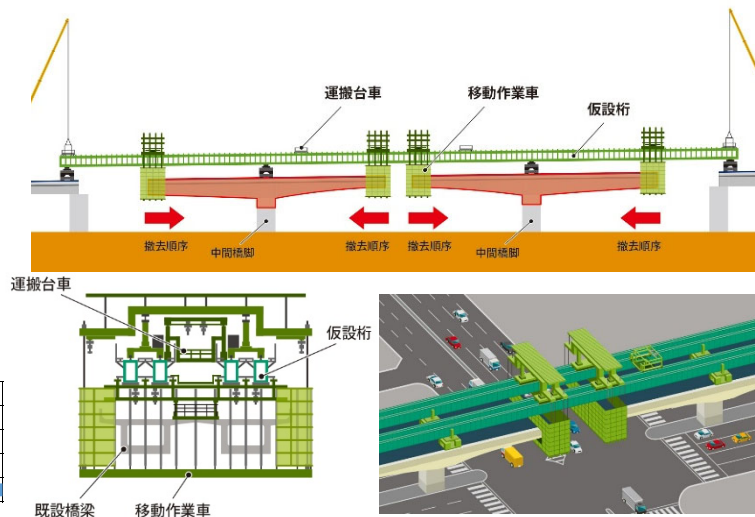
- 撤去対象橋梁直下の道路を通行止めにする必要がありません。
- 撤去工事は低騒音で行うことができるため、周辺環境へ配慮しつつ、昼夜作業が可能です。
- 上記2つのメリットにより、撤去対象高速道路の通行止め期間を最小限にすることができます。

技術の特徴

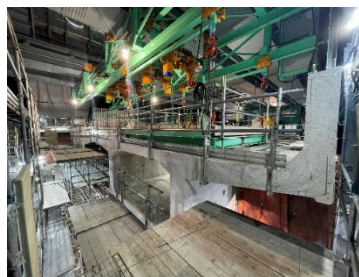
解体撤去する高速道路の上に仮設桁を設置し、そこに移動式作業足場やクレーン設備、運搬台車を取り付けることで、橋梁をブロック状に切り出して搬出する工程を全て空中で行うことができます。この間、直下の交差点や道路では通行止めを行う必要がなく、街路交通への影響を最小限にとどめることができます。解体撤去を空中のみで完結させる本工法は世界初の試みです。



	1年目	2年目	3年目
①仮設桁の架設			
②既設コンクリート橋梁の撤去			
③鋼製橋脚/橋桁の架設			
④橋面工・付属構造物			



解体作業はすべて移動作業車の中で行われます。この移動作業車は資機材の落下防止に加え、外面を防音シート等によって囲うことができます。これにより周辺への騒音を防止するため、夜間も施工を行うことができます。作業箇所すべて（移動作業車、架設桁ほか）に資機材の落下対策を実施することができるため、作業箇所直下の交通や生活環境に影響を与えません。上記のように周辺の交通や生活環境への影響を最小限にすることで昼夜での作業が可能となりました。本工事の例では、既設コンクリート橋梁の撤去、新設鋼製橋梁の架設を含めて約3年で工事を完了することができました。



実績・事例

阪神高速道路 喜連瓜破橋大規模更新工事

社外表彰

喜連瓜破橋大規模更新工事 令和6年度 土木学会田中賞作品部門（既設）
2003年度 グッドデザイン賞